

海軍  
別登

達第二十九號  
軍港以外ノ地ニ置ク海軍病院ヲ左ノ通定ム

所	屬	名	稱	所	在	地
橫須賀鎮守府		湊	海軍病院	靜岡縣賀茂郡竹麻村大字湊		
吳鎮守府		龜川	海軍病院	大分縣遠見郡御越町大字龜川		

前項ニ掲クノ海軍病院ニハ藥劑部及消毒部ヲ置カス

大正十二年達第二十八號ハ之ヲ廢止ス

大正十三年四月一日  
海軍大臣 村上 格 一

四十三  
海軍

達第三十號

海軍  
別登  
列海軍病院規則中左ノ通改正ス

大正十三年四月一日  
海軍大臣 村上 格 一

第一條ノ二及第十四條ノ二中「湊海軍病院」ノ下ニ「及龜川海軍病院」ヲ加フ  
第四十一條中「第二部長」ノ下ニ「及龜川海軍病院第二部長」ヲ加フ  
第四十二條中「湊海軍病院」ノ下ニ「及龜川海軍病院」ヲ加フ

(條例則卷一、二〇四頁参照)

達第三十一號

大正十二年達第六十八號中左ノ通改正ス

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

「及要港部ノ病院並防備隊ノ病室」ヲ、「要港部ノ病院、防備隊ノ病室其ノ他僻隊ノ地域ニ在ル海軍各部」ニ改ム

「佐世保海軍病院」ノ次ニ「湊海軍病院」及「龜川海軍病院」ヲ加フ

「旅順防備隊病室」ノ次ニ「霞ヶ浦海軍航空隊」、「大村海軍航空隊」及「鳳山海軍無線電信所」ヲ加フ

参照 大正十二年達第六十八號ハ現役海軍軍人又ハ軍屬ト同一ノ家ニ在ル者ヲ收容治療セシムルコトヲ得ル海軍病院等指定ノ件ナリ

四十四

海軍

達第三十二號

✓ 驅逐艦 ✓ 白 雪

✓ 全 ✓ 松 風

✓ 全 ✓ 野 分

✓ 全 ✓ 敷

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

達第三十三號

艦艇類別等級表中驅逐艦ノ欄内「白雪、松風、野分、敷」ヲ削ル

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

海軍部  
刑登

達第三十四號

現役海軍軍人及軍屬家族收療規則中左ノ通改正ス

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

第九條 本則ノ規定ハ要港部ノ病院、旅順防備隊ノ病室、霞ヶ浦海軍航空隊、大村海軍航空隊及鳳山海軍無線電信所ニ付之ヲ準用ス

四十五

海軍



1216

海軍省  
海軍部  
海軍省  
海軍部

達第三十五號

海軍軍需部處務規程中左ノ通改正ス

大正十三年四月一日

海軍大臣 村 上 格 一

第一條 海軍軍需部ハ常ニ海軍省軍需局經理局、海軍經政本部、海軍工廠及海軍經理部  
ト氣脈ヲ通スヘシ

第六條 軍需部所掌ノ軍需品トハ兵器、經營需品、燃料、被服及糧食ヲ謂フ

第六條ノ二 第一課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 軍需品ノ出師準備ニ關スルコト
- 二 軍需品ノ準備額及配備並資源ノ調査ニ關スルコト
- 三 人事及庶務ニ關スルコト
- 四 職工及勞務ニ關スルコト
- 五 軍需部内ノ保安取締ニ關スルコト

四十六  
海 軍

六 他ノ課ノ所掌ニ屬セサルコト

第六條ノ三 第二課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 軍需品ノ供給、出納、保管及運搬ニ關スルコト
  - 二 軍需品ノ品種、品質、量額及検査ニ關スルコト
  - 三 艦船部隊其ノ他各部ニ供給シタル軍需品ノ整備及保存ノ調査ニ關スルコト
  - 四 艦船部隊其ノ他各部ニ於テ消費シタル軍需品ノ調査ニ關スルコト
  - 五 軍需部内ニ於ケル軍需品<sub>兵器ヲ</sub>ノ製造工作ニ關スルコト
  - 六 軍需支部及貯炭場ニ關スルコト
- 第六條ノ四 第三課ハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 軍需品其ノ他ノ購買、不用物件ノ賣却其ノ他運搬等ノ契約ニ關スルコト
  - 二 造兵費、經營費、衣糧費ノ豫算、決算、整理及收入支拂ノ請求ニ關スルコト
  - 三 軍需部擔任ニ係ル器具機械其ノ他保管運搬用物件ノ整備、保管、保存期限及入費  
概算ニ關スルコト

1217

四 所掌軍需品ノ保管運搬ニ要スル人夫及舟車馬ノ備後ニ關スルニト

(大正十二年陸海軍五十一號令照)

四十七

海

軍

1218

海軍部  
別冊  
登記簿

達第三十六號

去型管底測程儀經歷簿別冊ノ通定ム

別冊ハ要スル向ニ配付セシム

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

達第三十七號

艦管需品定額表中左ノ通改正ス

大正十三年四月一日

海軍大臣 村上 格 一

航海長 主管

區別	類別	類別番號	品名	數稱	摘要
追加消耗品		二二七	去型管底測程儀經歷簿	部	挿換用紙共

四十八

海軍

1219



海軍短艇敷物規程左ノ通定ム

海軍短艇敷物規程左ノ通定ム

大正十三年四月十四日

海軍大臣 村 上 裕 一

海軍短艇敷物規程

第一條 海軍短艇敷物ハ左ノ三種トス

特別敷物

將官用敷物

士官用敷物

第二條 特別敷物ハ天皇又ハ皇族短艇ニ乗御ノトキ之ヲ使用ス

前項ノ規定ハ外國ノ元首及皇族ニ付之ヲ準用ス

第三條 將官用敷物ハ海軍將官又ハ司令官タル海軍大佐短艇ニ乗ルトキ之ヲ使用ス

第四條 士官用敷物ハ海軍士官(將官及司令官ニハ大佐ヲ除ク)、特務士官又ハ海軍高等文官短艇ニ乗ルト

キ之ヲ使用ス

前項ノ規定ハ海軍准士官ニ付之ヲ準用ス

第五條 短艇敷物ハ艇内坐席ニ被覆シテ之ヲ使用ス但シ機艇ニハ之ヲ使用セサルヲ例ト

第六條 第三條及第四條ノ規定ハ海軍豫備士官、豫備特務士官、豫備准士官又ハ帝國陸

軍武官ニ付之ヲ準用ス

前項ノ外必要ト認ムルトキハ内外國文武官其他ニ付之ヲ準用スルコトヲ得

第七條 各短艇敷物ノ制式ハ別ニ之ヲ定ム

五十

海軍



達第四十號

軍事補充費ヲ以テ建造スヘキ左記軍艦ノ建造ヲ取止メラル

大正十三年四月十四日

海軍大臣 村上 格 一

大正

記

戰艦 土佐、 尾張、 天城、 高雄、 愛宕

達第四十一號

艦艇類別等級表中戰艦ノ欄ヨリ「土佐」、「尾張」ヲ、巡洋戰艦ノ欄ヨリ「天城」、「高雄」、「愛宕」ヲ削除ス

大正十三年四月十四日

海軍大臣 村上 格 一

(海軍艦艇類別等級表ニ四〇五頁参照)

五十一

海軍

1222

達第四十二號

經營需品定額表及經營需品貸與品表中左ノ通改正ス

大正十三年四月十四日

海軍大臣 村 上 啓 一

經營需品定額表中

水雷長主管

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中左ノ通改正ス

主管別	區	別	品名	數稱	摘	要
機關長主管	追加	消耗品	輕油	立	魚雷手入用	

運用長主管船匠之部

區	別	類別	番號	品名	數稱	摘	要
削除	消耗品	四	二	四號石油	立		

他主管ハ供給スル消耗品中「四號石油」ヲ削除ス

五十二

海軍

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中左ノ通改正ス

主管別	區	別	品名	數稱	摘	要
機關長主管	追加	消耗品	輕油	立	塗筆塗刷毛掃除用	

機關長主管

他主管ハ供給スル消耗品中品名「輕油」數稱「立」ヲ加フ

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中運用長主管船匠之部「四號石油」ヲ削除ス

航海長主管

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中左ノ通改正ス

主管別	區	別	品名	數稱	摘	要
運用長主管 船匠之部	削除	消耗品	四號石油	立		
機關長主管	追加	同	輕油	立	發光信號燈用	

經營需品貸與品表中

機關長主管

乙類、酸素及新容器ノ貸與ノ適合欄中「アセチリン瓦斯新接器ヲ備フル事」ニ改ム

五十三

海軍

1224

別  
録

海軍第四十三號

艦船發着報告規則中左ノ通改正ス

大正十三年四月十五日

海軍大臣 村上 格 一

大出

第二條中「軍艦、水雷艦、水雷艇、水雷機、水雷艇、水雷機、水雷艇、水雷機」ヲ削ル

第六條 鎮守府所屬ノ艦船其ノ所屬ノ軍港ニ發着スル場合ニ在リテハ鎮守府司令長官之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ各艦船ハ海軍大臣ニ報告スルニ及ハス

要港部所屬ノ艦船其ノ所屬ノ要港ニ發着スル場合ニ在リテハ要港部司令官之ヲ海軍大臣ニ報告スルト共ニ之ヲ本籍鎮守府司令長官ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ各艦船ハ海軍大臣及本籍鎮守府司令長官ニ報告スルニ及ハス

第十一條 發着報告ハ電信ニ依ルヲ例トス郵便ヲ以テスルハ特殊ノ場合ニ限ル

第十八條第二號中「鬼ヶ首」ヲ「龜ヶ首」ニ、同第四號中「舞鶴鎮守府」ヲ「舞鶴要港部」

ニ、同第八號中「旅順要港部」ヲ「旅順防備隊」ニ改ム

五十四

海軍

1225

達第四十四號

經營需品定額表及經營需品貸與品表中左ノ通改正ス

大正十三年四月十六日

海軍大臣 村上 格 一

經營需品定額表中

主計長 主管

區別	類別	番號	品名	數稱	摘要	記事
削除	備品	一三	八	圖書		番號十九號ニ移ス
追加同	一三	一九	同			
部						
佐藤傳藏著 最新世界改造大地圖						
ハームスウオース						
百科全書						
ナイト、モイダン、シーマ						
ン、シツプ						
アデミラルティ、マニユアル、オ						
ブ、ナビゲーシヨン						
以上ノ四種ハ供給需品トス						

五十五

海軍

削除消耗品	改正同	追加同	部	部	部	書名	摘要	番號
一一	一一	一一	新聞雜誌	教科書	新聞雜誌		摘要削除	番號五三號ニ移ス
	四八	五三						
部								
ファイチング、シツプス								
ネーバル、アニユアル								
ニアイクラフト								
以上ノ三種ハ供給需品トス								

經營需品貸與品表中

主計長 主管

乙類豆破碎機、籾、豆腐型箱ノ貸與ノ場合「遠巡航海ノ軍艦ニ限ル」ヲ「遠洋航海ノ軍艦及臨時必要ニ限ル」ニ改ム

達第四十五號

海軍給與令施行細則中左ノ通改正ス

大正十三年四月十七日

海軍大臣 村 上 格 一

第十四表中禮裝用臂章ノ項ヲ左ノ如ク改ム

禮裝用臂章 一個 必要ノ數ヲ準備シ軍樂兵曹軍樂兵ニ貸與ス

第十七表品質製式ノ欄中下士官兵其ノ他ノ部臂章ノ項「四寸二分五厘」ヲ「二寸八分五厘」ニ、禮裝用臂章ノ項「四寸八分」ヲ「三寸一分」ニ改ム

第十七表附圖中善行章ノ圖ヲ附圖ノ如ク改ム

附 則

本達ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

善行章ハ大正十三年十月一日以降本改正品ヲ供給シ在來品ハ貯藏品ノ在ル限り之ヲ混用

五十六

海 軍

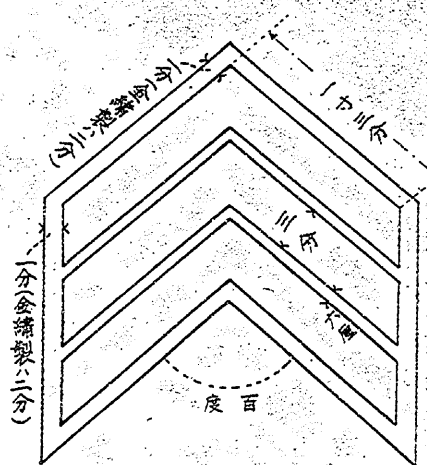
スルコトヲ得

(令貯法規中卷三十七頁参照)

(附圖一葉添)

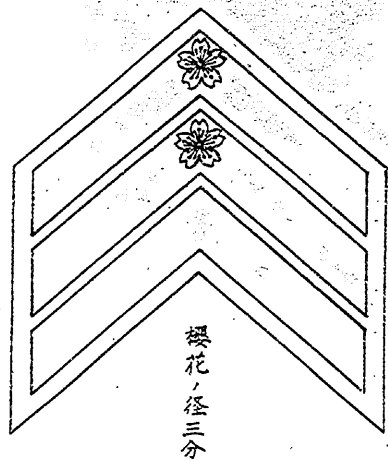
達第四十五號附圖

普通善行章



特別善行章

(特別善行章二線と各章)  
(善行章二線と各章七割)



1228

達第四十六號

大正十二年四月達第九十七號市町村助成金交付規則中左ノ通改正ス

大正十三年四月二十一日 海軍大臣 村上 格 一

大出

第四條 市町村助成金ハ舞鶴要港部、海軍火藥廠及海軍燃料廠所在及隣接町村ニ關スルモノニ在リテハ各其ノ應ニ於テ其ノ他ノモノニ在リテハ當該海軍經理部ニ於テ之ヲ交付ス

參照 大正十二年四月達第九十七號第四條市町村助成金ハ海軍火藥廠及海軍燃料廠ニ關スルモノニ在リテハ各其ノ應ニ於テ其ノ他ノモノニ在リテハ海軍省經理部ニ於テ之ヲ交付ス

達第四十七號

海軍作業會計規程中左ノ改正ス

第五條ノ二 軍需局長ハ海軍燃料廠ノ、經政本部長ハ海軍火藥廠ノ決定豫算ニ基キ當該

五十七

海軍

年度主要事業ノ實施豫定計畫書ヲ調製シ四月十五日迄ニ訓令ノ手續ヲ爲スヘシ  
大正十三年四月二十一日 海軍大臣 村上 格 一

達第四十八號

大正十一年達第九號ハ之ヲ廢止ス

大正十三年四月二十一日 海軍大臣 村上 格 一

參照 大正十一年達第九號ハ航空艦名簿ノ件ナリ

(附例別巻二、七二五頁)



達第四十九號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

驅逐艦及掃海艇ノ欄中「第一、第二」等トアルヲ「第一號、第二號」等ニ改ム

備考第二號中「第一驅逐艦」「第二驅逐艦」ヲ「第一號驅逐艦」「第二號驅逐艦」ニ改ム

同第三號中「第一掃海艇」「第二掃海艇」ヲ「第一號掃海艇」「第二號掃海艇」ニ改ム

大正十三年四月二十四日 海軍大臣 村上 格 一

達第五十號

今般艦艇類別等級改正ノ結果海軍諸令途中「第一驅逐艦、第二驅逐艦」等トアルハ「第一號驅逐艦、第二號驅逐艦」等ニ、「第一掃海艇、第二掃海艇」等トアルハ「第一號掃海艇、第二號掃海艇」等ト改マリタル儀ト心得ヘシ

大正十三年四月二十四日 海軍大臣 村上 格 一

五十八 海軍

1230